

ロジックモデル(精神医療)に関する論点

1 目指す姿(分野アウトカム)について

- 記載内容
 - ・ 長野県が目指す、あるべき県民・患者の状態として適切か(共通)
- 指標(任意)
 - ・ 記載内容を評価する指標として適切な指標についてのご意見(共通)

2 中間成果(中間アウトカム)について

- 国の示す8次計画の指標例を参考に、「普及啓発・相談支援」、「地域移行・地域における支援」、「危機介入」、「診療機能」、「拠点機能」で構成したものを案としている。
- 記載内容
 - ・ 目指す姿(分野アウトカム)に繋がる、「県民・患者の状態」「医療サービスの状態」として適切か(共通)
 - ・ 国の医療計画作成指針に人権擁護の観点が増加されたことを受け、中間アウトカムに追加することについてのご意見。
 - ・ 国が検討の指標例として示す16の領域について、以下のとおり中間アウトカムの下に位置付けることを想定しているが、位置付けの方向性についてのご意見。

《危機介入》

精神科救急、身体合併症、災害精神医療、自殺対策

《診療機能》

統合失調症、うつ病・躁うつ病、認知症、児童思春期・発達障害、依存症(アルコール、薬物、ギャンブル等)、摂食障害、PTSD、てんかん、医療観察法、高次脳機能障害

《拠点機能》

依存症、認知症、児童思春期・発達障害、てんかん など

○ 指標（任意）

- ・ 今回7次計画の指標（8次計画共通）のみ設定したが、記載内容を評価する指標として適切か。

3 施策（アウトプット）について

○ 記載内容（方向性）

- ・ 国の8次医療計画作成指針に人権擁護の観点が増加されたが、入院医療を必要最小限にするための取組や隔離・不適切な身体拘束をゼロにする取組、精神保健福祉法の一部改正による虐待防止に関してどう記載していくべきか。
- ・ 国の医療計画作成指針において、児童思春期と発達障がい項目が統合されていることから、県の計画においても統合させることの可否。
- ・ 国が指標例に示す疾病等の16の領域について、計画への記載の可否も含め、個別の疾患に関するご意見。